

令和2年度生涯学習事業報告

令和3年度生涯学習事業計画



市民部 創造都市・文化振興課

中区・西区・北区・浜北区・天竜区 まちづくり推進課

東区・南区 区民生活課

令和2年度事業報告

【 中 】区

区 の 重 点	<p>地域と人とのつながりを生かした生涯学習の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の特性に応じて学習ニーズに応えられる、「地域の学習の場として」の学習機会の充実を図ります。 【大綱との関連】基本方向1-(2) ○ 「地域の学習拠点」として、地域住民・学校の協力により事業を進め、人づくり・まちづくりの機能充実を図ります。 【大綱との関連】基本方向1-(3) ○ 地域において生涯学習を推進していくために、人材を発掘し、育成に努めます。 【大綱との関連】基本方向2-(2)
------------------	--

浜松市生涯学習推進大綱			主な取り組み	区の重点
めざす 都市像	基本方向	推進項目	○多くの施設で力を入れていく取り組み ○初の取り組みや今後他施設のモデルとなる取り組み(施設名)	
「楽しみ」や「生きがい」が見つかるところ・浜松	基本方向 1	(1) 施設の整備	<p>○施設の長寿命化対策として、職員による定期的な点検・修繕を実施し、建物や設備の機能保全に努めました。</p> <p>○施設利用者の利便性向上のため、要望のあったホール昇降ステージ、体育館床、ホール床の改修を行いました。(西部・北部・県居協働センター)</p>	
	いつでも、どこでも、学べる学習環境づくり	(2) 学習情報と学習機会の充実	<p>○<u>浜松市公式ホームページと二次元コードを活用し、スマホやパソコンからの講座申し込みや講座内容の紹介を可能にしました。(北部・県居協働センター)</u></p> <p>○<u>生涯学習推進の手引きとなる「地域活動団体」の紹介冊子を作成して各戸配付したことで、関心のある地域住民からの問い合わせが増加しました。(佐鳴台協働センター)</u></p> <p>○全市域を対象に、大学教養課程レベルの専門性の高い学習機会を提供するため、県西部8大学9学部の協力を得て、第28回市民アカデミーを開催しました。(まちづくり推進課)</p>	○
		(3) 学習環境の向上	<p>○ボランティア団体(BATE-PAPO)と協働し、地域に居住している外国人に対し、日本語の学習支援活動を行いました。(北部協働センター)</p> <p>○<u>曳馬地区の民生・児童委員で組織するボランティア団体(曳馬塾)と協働し、家庭の事情で塾に通えない児童生徒に対し、夏休みを利用した無料の学習塾を開催しました。(曳馬協働センター)</u></p>	○
	基本方向 2	(1) 学習成果を発揮する機会の充実	<p>○市民が自身の知識や経験等の学びを地域に還元するために、講座を企画・運営する「学習成果活用事業」を実施しました。</p> <p>○<u>地域住民に対し地域づくり意識の高揚を図るため、「人が集まると何か起きる」をテーマにした多世代交流事業「あおぞら協働センター」を開催しました。(富塚協働センター)</u></p>	○
	学習成果を適切に生かすことのできる仕組みづくり	(2) 人材の育成	<p>○地域の中学生、高校生、大学生を対象に、協働センターが主催するイベント等の企画・運営をサポートする「コミュニティ・アシスタント」を募集し、<u>将来の地域づくりリーダーやボランティアの育成に取り組みました。(富塚・県居協働センター)</u></p>	○

◆成果 ・ ◆課題	<p>◇協働センター窓口で受付する講座の応募方法に代わり、二次元コードを活用した応募を可能にしたことで、日頃協働センターに来館できない世代の新規受講者を獲得するとともに、新たな情報発信の方法として昨年度の課題を解決することができました。</p> <p>◇コロナ禍でのイベント実施において、不特定多数の者を対象としていた事業を完全予約制とし、名簿管理のうえ感染防止対策を徹底することで、地域からの要望に応えることができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆区内全協働センターで積極的な二次元QRコードを活用した応募。 ◆各協働センターにおいて、ICTの利用を促進するための講座を地域住民に提供にすることが重要であることを意識し、事業計画に反映させること。(浜松市はデジタル・スマートシティ推進事業本部を設置し、今後デジタルを活用した「都市づくり」「市民サービス」「自治体運営」を行っていくため) ◆コロナ禍のイベントについての周知方法の工夫。(協働センターだよりで周知すると、イベントや講座を不要不急の行動と捉える市民もいるため、地域では反対する声もあり、理解を得るための周知方法に苦慮しているため)
-----------------	--

区
の
重
点

人の和を生かした豊かな地域社会の創造

- 地域のコンテンツや課題を意識した「地域の学習の場」としての学習機会の充実を図ります。
【大綱との関連】基本方向1-(2)
- 地域住民や学校との協働により事業を進め、「地域コミュニティの拠点」として人づくり・まちづくりの機能充実を図ります。
【大綱との関連】基本方向2-(1)
- 生涯学習推進のため、地域の学習リーダーが活躍する場を確保するとともに、ボランティアの活動を助長し、地域の人材の育成に努めます。
【大綱との関連】基本方向2-(2)

浜松市生涯学習推進大綱		主な計画		区の重点
めざす都市像	基本方向	推進項目	○多くの施設で力を入れていく取り組み ○初の取り組みや今後他施設のモデルとしていきたい取り組み(施設名)	
「楽しみ」や「生きがい」が見つかるまち・浜松	基本方向1	(1) 施設の整備	○協働センターを訪れた方が安全かつ快適に利用できる施設となるように、利用者の声を聞き取り、施設の維持管理と整備に努めます。 ○施設利用者の安全確保のため、 <u>非常用放送設備の改修を行います。(富塚・佐鳴台協働センター)</u>	
	いつでも、どこでも、学べる学習環境づくり	(2) 学習情報と学習機会の充実	○スマホやパソコンからの講座申し込みや講座内容の紹介など、すでに実践している協働センターの取り組みを検証し、中区の全協働センターで情報共有をしながら、改善していきます。 ○ <u>コロナ禍におけるICTを活用した協働センターの運営を検討するため、全国的にも見受けられるZOOMを利用した講座を実施し、効果を検証します。(東部協働センター)</u>	○
		(3) 学習環境の向上	○託児サービス付きの講座を実施し、小さな子供連れの市民がより一層受講しやすい環境を整えます。(南部・曳馬協働センター) ○地域課題の解決に努める地域住民を支援した結果、学習支援を目的としたボランティア団体が設立されたため、家庭の事情で塾に通えない児童生徒に対して無料の学習塾を開催します。(高台協働センター) ○ <u>学校支援コーディネーターと定期的に意見交換を行い、地域学校協働活動をサポートしながら、地域の人材を活かした学校運営の支援に取り組みます。(高台協働センター)</u>	○
	基本方向2	(1) 学習成果を発揮する機会の充実	○ <u>地域づくりに貢献している企業やNPO法人、自治会、ボランティア団体の紹介冊子を作成して配付することで、地域づくり意識の高揚を図り、社会貢献活動に意欲のある新たな人材の発掘に取り組みます。(北部協働センター)</u> ○ <u>佐鳴湖の環境問題を解決するため、SDGsの新スポーツ「プロギング」(ジョギングとゴミ拾いを合わせたスポーツ)を通じ、地域住民と「ごみ・環境・SDGs」について考え、人材育成及び住民の地域づくり意識の高揚を図る「ごみゼロフェスタ」を開催します。(富塚協働センター)</u>	○
仕組みづくり	(2) 人材の育成	○中学生ボランティアを協働センターのイベント事業に参画させることで、将来の地域の担い手となる人材育成を図ります。 ○学習成果活用事業を実施する個人や団体に対し積極的に協力・支援することで、新たな地域の学習リーダーを育成します。 ○ <u>浜松学院大学長期企業内留学生を受け入れ、市民協働・地域づくりを主体的に学ぶことで、学生の視点から地域づくりについて考える機会を提供します。(東部・北部・曳馬・高台・中部協働センター)</u>		

令和2年度事業報告

【 東 】区

区の重点

- 新たな人の和と多様な出会いが生まれるまちを目指して、地域の人材をはぐくむ機会の提供と環境の整備に取り組めます。
- 〇活力にあふれ、特色あるまちづくりの中心となる地域の人材の育成に努めます。
【大綱との関連】基本方向2-（2）
- 〇地域の生涯学習の拠点であり、人材の育成と活躍の場でもある協働センターの整備と改修に取り組めます。
【大綱との関連】基本方向1-（1）
- 〇住民の交流や相互の啓発による地域の活性化を目指して、地域の学習拠点となる環境づくりに努めます。
【大綱との関連】基本方向1-（3）

浜松市生涯学習推進大綱		主な取り組み		区の重点
めざす都市像	基本方向	推進項目	〇多くの施設で力を入れていく取り組み 〇初の取り組みや今後他施設のモデルとなる取り組み(施設名)	
「楽しみ」や「生きがい」が見つかるまち・浜松	基本方向1	(1) 施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> 〇点検に基づく不具合の修繕のほか、利用者の要望を聞き取り、より使いやすい施設になるための計画的な改修を行いました。 〇センターの利用状況により、60台分の駐車場がオーバーフローすることが頻発しているため、その対策として駐車スペースを確保するため、<u>駐車場整備工事の設計を行いました。(天竜協働センター)</u> 	〇
	いつでも、どこでも、学べる学習環境づくり	(2) 学習情報と学習機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> 〇たよりによる活動団体紹介や活動の支援、様々な世代に向けた講座の開催などの取り組みにより、施設使用率の向上を図りました。 〇小学生を対象に、門松づくりを体験し、物作りの楽しさを知るとともに、日本の伝統に触れる機会を教える「子ども講座」を開講しました。(笠井協働センター) 	
		(3) 学習環境の向上	<ul style="list-style-type: none"> 〇地域の楽団・積志ウィンドアンサンブルと中学生・高校生による「ふれあいコンサート」をWEB配信にて開催し、<u>子どもたちが音楽に触れる機会を提供しました。(積志協働センター)</u> 〇学習ニーズの高い浜松の歴史に関する講座を企画し、開催しました。(天竜協働センター) 	〇
	基本方向2	(1) 学習成果を発揮する機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> 〇「学習成果活用事業」では、体操の効果を確認しながら筋力を鍛える「浜松いきいき体操と嚙下体操」(天竜協働センター)や、子どもから大人まで楽しめるフラワーアレンジメントやものづくりを行う「わいわい広場」(積志協働センター)を実施しました。 〇託児サービス付きの講座を実施することで、若年層を含む幅広い年代の方がより一層受講しやすい環境を整えました。(長上協働センター) 	
	学習成果を適切に生かすことのできる	(2) 人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> 〇「浜松市と大学との連携事業」を活用して地域に新しい風を呼び込み、若いリーダーやボランティアの養成を図りました。 〇「学習成果活用事業」の中で、<u>将来、地域で活躍できる人材の育成を目的として、地域活動団体が講師となって中学生ボランティアを育成する「リーダーカレッジ」を開催しました。(蒲協働センター)</u> 	〇

◆成果・課題

- ◆地域人材を活用した講座や各種団体等と連携・協力したイベントを企画し、地域に根差した充実した内容を多く提供することができました。また、新型コロナウイルス感染防止のため、講座の開催数や募集人数を減らしたうえで、開催時には、手指消毒や換気等の対応を行いました。
- ◆中学生ボランティアの活用や大学生による講座に積極的に取り組み、将来的にボランティア候補や地域のリーダーを養成する若い力を生かした事業の充実や改善につなげることができました。
- ◆地域活動団体の高齢化に伴う、世代間交流を視野に入れた新たな人材の発掘・育成。
- ◆協働センター利用率向上のため、新たな受講者の獲得及び受講者層の拡大(若年層や成年層、男性等)のための、講座内容や周知方法の見直し。(女性の参加率が高い一方、一部参加者の固定化及び高齢化が顕著であり、特に働き盛り世代の男性の参加が極めて低調であるため。)

令和3年度事業計画

【 東 】区

区の重点	新たな人の和と多様な出会いが生まれるまちを目指して、地域の人材をはぐくむ機会の提供と環境の整備に取り組めます。
	○活力にあふれ、特色あるまちづくりの中心となる地域の人材の育成に努めます。 【大綱との関連】基本方向2ー(2)
	○地域の生涯学習の拠点であり、人材の育成と活躍の場でもある協働センターの整備と改修に取り組めます。 【大綱との関連】基本方向1ー(1)
	○住民の交流や相互の啓発による地域の活性化を目指して、地域の学習拠点となる環境づくりに努めます。 【大綱との関連】基本方向1ー(3)

浜松市生涯学習推進大綱		主な計画		区の重点
めざす都市像	基本方向	推進項目	○多くの施設で力を入れていく取り組み ○初の取り組みや今後他施設のモデルとしていきたい取り組み(施設名)	
「楽しみ」や「生きがい」が見つかるまち・浜松	基本方向1 いつでも、どこでも、だれでも学べる学習環境づくり	(1) 施設の整備	○点検に基づく不具合の修繕のほか、利用者の要望を聞き取り、より使いやすい施設になるための計画的な改修を行います。 ○令和2年度に設計を実施した駐車場整備工事について、10台分の駐車場の確保を行います。(天竜協働センター) ○附設体育館の床表面の保護材が全面的に劣化していることから、安全性確保のため、体育館床面改修工事の設計を行います。(笠井協働センター)	○
		(2) 学習情報と学習機会の充実	○地域活動団体の支援をしたり、地域住民に対して活動の紹介をしたりするほか、様々な世代に向けた講座の開催する等の取り組みにより、施設使用率の向上を図ります。 ○男性や現役世代でも気軽に受講できるよう、土曜日に「プロから学ぶスペシャルティコーヒー講座」を開催します。(長上協働センター)	○
		(3) 学習環境の向上	○協働センターが担う、人づくり・まちづくりの拠点としての機能を充実させるため、また学習成果の発揮と住民交流の機会として、協働センターまつり等の「地域ふれあい事業」を開催します。 ○地域の楽団・積志ウインドアンサンブルと小・中学生による「ふれあいコンサート」を開催し、子どもたちが音楽に触れる機会を提供します。(積志協働センター) ○地域の中ノ町環境保全会が講師となり、天竜区内の団体と連携をするなかで、耕作放棄地で栽培した地元産の信州そば粉を使用した「そば打ち体験教室」を開催します。(天竜協働センター)	
	基本方向2 学習成果を適切に生かすことのできる仕組みづくり	(1) 学習成果を発揮する機会の充実	○協働センターまつりでは、展示や演技発表等で日頃の学習成果を発揮してもらうとともに、地域づくりの一助となるよう、企画や準備から団体やボランティアの参加を呼び掛けます。 ○託児サービス付きの講座を実施することで、若年層を含む幅広い年代がより一層受講しやすい環境を整えます。(長上協働センター)	
		(2) 人材の育成	○「浜松市と大学との連携事業」を活用して地域に新しい風を呼び込み、若いリーダーやボランティアの養成を図ります。 ○自治会を通じて地域の高等学校に協力を依頼し、イベント等へのボランティアの参加を呼び掛けます。(笠井協働センター) ○「学習成果活用事業」の中で、将来、地域で活躍できる人材の育成を目的として、地域活動団体が講師となって中学生ボランティアを育成する「リーダーカレッジ」を開催します。(蒲協働センター)	○

令和2年度事業報告

【 西 】区

区 の 重 点	<p>地域の拠点となる協働センターを目指して</p> <p>○地域の多様な人々のニーズに応じた企画を実施します。 【大綱との関連】基本方向1-(2)</p> <p>○地域の学習拠点として、より学習しやすい環境を整えます。【大綱との関連】基本方向1-(3)</p>
------------------	---

浜松市生涯学習推進大綱		主な取り組み		区の重点
めざす都市像	基本方向	推進項目	○多くの施設で力を入れていく取り組み ○初の取り組みや今後他施設のモデルとなる取り組み(施設名)	
「楽しみ」や「生きがい」が見つかるまち・浜松	基本方向1	(1) 施設の整備	○協働センターの消火設備更新工事及び附設体育館の排煙窓改修工事を行い、火災発生時における利用者の安全を確保しました。(伊佐見協働センター) ○附設体育館の床面が全体的に損傷していたため、床面研磨及び樹脂塗装を行い利用者の負傷事故防止に努めました。(入野協働センター)	
	いつでも、どこでも、学べる学習環境づくり	(2) 学習情報と学習機会の充実	○地域の学習拠点としてニーズに応じた講座を提供しました。 ○利用の少ない男性を主な対象とした講座を実施し、協働センターへ多様な住民を呼び込みました。「男の厨房講座」雄踏協働センター	○
		(3) 学習環境の向上	○託児サービスつきの講座を実施し、子育て中の保護者が参加しやすい環境を整えました。(篠原協働センター)	○
	基本方向2	(1) 学習成果を発揮する機会の充実	○コロナ禍で協働センターでの展示作品が集まらないため、各学校から掲示・制作物を提供してもらい協働センター内に展示。後日、地元の花屋に声掛けをし、地元の花を使って中学生ボランティアにフラワーアレンジメントを作成してもらい、展示物のお礼として協働センター職員が学校に届けました。「花と感謝の宅配便」神久呂協働センター ○協働センターまつり等が中止になったことにより、感染予防対策を徹底した代替事業を実施しました。「小さな展示会」篠原協働センター	
	学習成果を適切に生かすことのできる仕組みづくり	(2) 人材の育成	○学習成果活用事業を実施する個人や団体に対して、積極的に協力・支援しました。 ○ボランティア養成講座(花ボランティア育成講座)を実施し、地域の花壇整備ボランティアとしての人材を育成しました。(庄内協働センター)	

◆成果・課題	<p>◇予定していた多くのイベントや講座が中止となっていくなか、新たに感染予防に努めた講座を提供することができました。</p> <p>◇地域ならではの講座を開催し、学習の機会を提供する場としての役割を果たせました。</p> <p>◆コロナ禍での講座開催における、講座内容、募集方法、PR、受付方法の見直し。</p> <p>◆参加者の高齢化、固定化が進んでいるため、世代間交流ができるような講座を企画や加の少ない世代へ働きかけ。</p>
--------	---

令和3年度事業計画

【 西 】区

区 の 重 点	地域の拠点となる協働センターを目指して ○地域の多様な人々のニーズに応じた企画を実施します。 【大綱との関連】基本方向1-(2) ○地域の学習拠点として、より学習しやすい環境を整えます。【大綱との関連】基本方向1-(3)
----------------------------	---

浜松市生涯学習推進大綱		主な計画	区の重点
めざす都市像	基本方向	推進項目	
「楽しみ」や「生きがい」が見つかるまち・浜松	基本方向 1	(1) 施設の整備	
	基本方向 1	(2) 学習情報と学習機会の充実	○
	基本方向 1	(3) 学習環境の向上	
	基本方向 2	(1) 学習成果を発揮する機会の充実	○
	基本方向 2	(2) 人材の育成	
	基本方向 2	(3) 学習環境の向上	

いつでも、どこでも、だれでも 学べる学習環境づくり
 学習成果を適切に生かすことのできる 仕組みづくり

○多くの施設で力を入れていく取り組み
 ○初の取り組みや今後他施設のモデルとしていきたい取り組み(施設名)

○日常の軽微な修繕のほか、経年劣化に対する計画的な修繕工事を実施します。

○地域の学習拠点としてニーズに応じた講座を提供します。
 ○浜松市が取り組んでいるデジタルスマートシティの推進において、高齢者のデジタル技術を支援するため、高齢者向けのスマートフォン教室を開催します。(神久呂、入野、篠原、舞阪協働センター)

○Wi-Fiルーターの貸し出しをPRすることにより、協働センターを利用する市民団体等がインターネットを利用できる環境を提供します。

○協働センターまつりでは、地域活動団体の日ごろの活動を発表する場として作品展示、芸能発表を実施し、団体の活性化とPRを図ります。
 ○浜松市と大学との連携事業を通して、大学生が協働センター事業に参画し、大学で学んだ知識と技能を生かす機会の提供と大学の専門性を地域に還元することを推進します。

○学習成果活用事業を実施する個人や団体に対して、積極的に協力・支援をします。
 ○ボランティア養成講座を実施し、地域で活躍できる新しい人材を育てます。

令和2年度事業報告

【 南 】区

区 の 重 点	市民協働によるまちづくりの推進 ○区民がいきいきと活躍する協働まちづくりを推進します。 【大綱との関連】基本方針1-(2)、2-(1)、2-(2) ○様々な世代が快適に暮らせるまちづくりを推進します。 【大綱との関連】基本方針1-(2)、2-(1) ○地域資源を活かした魅力あるまちづくりを推進します。 【大綱との関連】基本方針1-(2)、2-(1)				
	浜松市生涯学習推進大綱				
「 楽 し み 」 や 「 生 き が い 」 が 見 つ か る ま ち ・ 浜 松	めざす 都市像	基本方向	主な取り組み ○多くの施設で力を入れていく取り組み ○初の取り組みや今後他施設のモデルとなる取り組み(施設名)	区の重点	
	いつでも、どこでも、だれでも 学べる学習環境づくり	基本方向 1	(1) 施設の整備	○施設の長寿命化を計画的に実施し、利用者の要求に応えられる施設とするため、「体育館の床面改修工事」(南陽協働センター)、「浜松市天文台観測室ドーム改修工事」(天文台)等を行いました。 ○市民が安全・快適に利用できるように、不具合の発生時は迅速に緊急修繕を実施しました。	
		(2) 学習情報と学習機会の充実	○協働センターだよりを各戸配布又は回覧するほか、「子ども講座」は、地区内小学校の児童にチラシを配布し、より多くの子供が参加しやすいよう取り組みました。 ○協働センターまつりや天文台事業など広域対象事業の情報を【南区公式Facebook「みなみる」】で発信しました。(全協働センター) ○地域力向上事業「ふるさと新津地域かるたを作ろう」「災害に備えるための『減災学習』」(新津協働センター)、「田んぼアートを体験して、稲作について学ぼう」(白脇協働センター)により、地域課題解決へ取り組み、地域コミュニティの活性化を推進しました。	○	
		(3) 学習環境の向上	○協働センターで実施された講座を契機として受講生が同好会をつくり、活動するよう働きかけました。さらに同好会の絵画、工芸品、写真等を協働センターのロビー等に展示し、団体の意欲向上やPRを図りました。 ○浜松市有形文化財に指定された「ジェームズ・ペイトン号遭難事件関係資料」のパネル展示会(五島協働センター、南区役所)を通じて、この事件の発端から解決までのあらましを紹介し、五島地区の誇れる歴史の伝承に努めました。 ○地域ふれあい事業(センターまつり、ふれあいコンサート等)を地域活動団体や地域住民と協働で取り組みました。		
		基本方向 学習成果を適切に生かすことのできる	(1) 学習成果を発揮する機会の充実	○協働センターまつりでは、新型コロナウイルス感染対策を行いながら、地域活動団体の日ごろの活動を発表する場として作品展示、芸能発表を実施し、団体の活性化とPRを図りました。 ○「浜松市と大学との連携事業」を通して、大学生が協働センター事業に参画し、大学で学んだ知識と技能を生かす機会の提供と大学の専門性を地域に還元することを推進しました。 ○世代間交流や地域コミュニティの活性化に寄与するために考案された南区発祥のオリジナルゲーム「サイコロダーツ」の普及に努めました。(全協働センター)	○
仕組みづくり	(2) 人材の育成	○地域の人材を活用した講座の実施や学習成果活用事業を実施する市民や団体を積極的に協力・支援し、「生涯学習ボランティア養成講座」(可美協働センター)の開催により、地域リーダーや新たな人材の育成を推進しました。 ○協働センターまつりや成人式の運営にボランティアを積極的に活用し、将来の地域リーダー及びボランティア候補の養成を図りました。 ○協働センターまつりで「生涯学習体験コーナー」(可美協働センター)を設け、生涯学習ボランティアの活躍の場を提供しました。	○		
◆成果◆ ◆課題◆	<p>◇地域人材を起用した講座及び各種団体等と連携・協力したイベントにより、地域コミュニティの活性化を図ることができました。</p> <p>◇講座の開催、イベントでのボランティア活用により、世代間交流、将来の地域リーダー及びボランティア候補の養成につながることができました。</p> <p>◇活動発表の機会を奪わないよう、新型コロナウイルス感染対策を行いながら、縮小規模での協働センターまつりを開催しました。</p> <p>◆世代間交流や地域課題への取り組みによる、地域コミュニティの更なる活性化。</p> <p>◆地域活動団体の高齢化や、講座受講生の偏りの解消のため、さらなる工夫。</p> <p>◆新型コロナウイルス感染対策を十分に行いながらの各イベント、講座開催の調整。</p>				

令和3年度事業計画

【 南 】区

区 の 重 点	市民協働によるまちづくりの推進 ○区民がいきいきと活躍する協働まちづくりの推進 【大綱との関連】基本方針1-(2)、2-(1)、2-(2) ○様々な世代が快適に暮らせるまちづくりの推進 【大綱との関連】基本方針1-(2)、2-(1) ○地域資源を活かした魅力あるまちづくりの推進 【大綱との関連】基本方針1-(2)、2-(1)
------------------	---

浜松市生涯学習推進大綱		主な計画		区の重点
めざす都市像	基本方向	推進項目	○多くの施設で力を入れていく取り組み ○初の取り組みや今後他施設のモデルとしていきたい取り組み(施設名)	
「楽しみ」や「生きがい」が見つかるまち・浜松	基本方向 1 いつでも、どこでも、学べる学習環境づくり	(1) 施設の整備	○体育館の床面改修工事(可美協働センター)及び駐車場の外灯改修工事(五島協働センター)等により、市民が安全・快適に利用できるよう整備を進め、施設の利用や維持に支障が生じた場合は迅速に修繕を行います。	○
		(2) 学習情報と学習機会の充実	○協働センターだよりの各戸配布や回覧のほか、区内小学校を通じて児童へ「子ども講座」の案内を配布し、多くの人が参加機会を得られるように取り組みます。 ○協働センターまつりや天文台事業など広域対象事業の情報を【南区公式Facebook「みなみる」】で発信します。(全協働センター)	
		(3) 学習環境の向上	○天文台40周年事業「～あなたも星のソムリエになりませんか?～浜松星空案内人講座」(五島協働センター)、 <u>地域地名由来等の地図を作成する「地域愛称マップ作製」</u> (可美協働センター、白脇協働センター)の地域力向上事業を実施します。 ○講座受講生が同好会を作り、活動するよう働きかけ、発足時に相談等の支援をします。 ○協働センターに同好会の作品等を展示し、活動団体のPRや参加者の意欲向上を図ります。 ○地域ふれあい事業を地域活動団体や地域住民と協働で取り組みます。	
	基本方向 2 学習成果を適切に生かすことのできる仕組みづくり	(1) 学習成果を発揮する機会の充実	○協働センターまつりで、地域活動団体の作品展示、芸能発表及び住民参加型のイベントを、新型コロナウイルス感染症の状況を見定めながら実施し、団体の活性化と住民同士の交流を図ります。 ○ <u>世代間交流や地域コミュニティの活性化に寄与するために考案された、南区発祥のオリジナルゲーム「サイコロダーツ」の普及に努めます。</u>	○
		(2) 人材の育成	○地域の人材を活用した講座の実施や、学習成果活用事業提案者に積極的な協力・支援を行い、地域リーダーの育成や新たな人材の掘り起こしを進めます。 ○協働センターまつりや成人式の運営にボランティアを積極的に活用し、地域リーダー及びボランティア候補の養成を図ります。	○

令和2年度事業報告

【 北 】区

区 の 重 点	<p>地域性を活かした生涯学習機会の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域の特性を生かしたバラエティに富んだ学習講座を設定し、生涯学習の充実を図る 【大綱との関連】基本方向1-(2) ○子供育成講座・事業への地域住民の参画を促して、地域教育力の向上を図る 【大綱との関連】基本方向1-(3) ○世代間の交流を促進し、住民の連帯感・地域コミュニティ意識の向上を図る 【大綱との関連】基本方向2-(1)
------------------	--

浜松市生涯学習推進大綱		主な取り組み		区の重点
めざす都市像	基本方向	推進項目	<ul style="list-style-type: none"> ○多くの施設で力を入れていく取り組み ○初の取り組みや今後他施設のモデルとなる取り組み(施設名) 	
「楽しみ」や「生きがい」が見つかるまち・浜松	基本方向1	(1) 施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○老朽化していた移動式ステージを修繕し、利用者の安全確保を実施しました。(三方原協働センター) ○利用者からの要望に応える形で、二つの和室の間仕切り襖を修繕し、サークル活動をしやすい環境づくりに努めました。(三ヶ日協働センター) 	
	いつでも、どこでも、だれでも 学べる学習環境づくり	(2) 学習情報と学習機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○講座やイベントの情報発信のため、近隣の金融機関に協力を要請しました。(引佐協働センター) ○浜松市のホームページを活用して幅広く講座の募集を行ったり、講座の様子を知らせたりしました。(細江協働センター) ○子ども向け講座では、近隣の小学校へ募集チラシを配布しました。(三方原協働センター) 	○
		(3) 学習環境の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナウイルス感染症対策として、区で統一した対応基準を確認し、受講者が安心、安全に参加できる体制を整えました。 ○都田川沿いの自然探検や気賀周辺の歴史探検等、実際に歩きながら故郷に興味、関心を持つ親子対象の講座を企画しました。(細江協働センター) 	○
	基本方向2	(1) 学習成果を発揮する機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○「浜松市と大学との連携事業」を活用し、大学生の専門性を地域に還元すると共に、大学生が協働センター事業に参画する環境づくりに努めました。(各協働センター) ○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学習成果の発表会を中止したが、その代替策として、協働センター玄関ロビーを利用して作品展示を行いました。(三ヶ日協働センター) 	○
学習成果を適切に生かすことのできる 仕組みづくり	(2) 人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○「学習成果活用事業」では、市民の提案に対して相談にのったり、助言したりして、学習成果活用事業への挑戦を積極的に支援することができました。(三ヶ日協働センター) ○「浜松市と大学との連携事業」を通じて、地域の住民と大学及び学生との交流を図ることができました。(各協働センター) 		

◆成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ◇大学連携事業を活用することで、大学と地域とのつながりを持つことができました。 ◇新型コロナウイルス感染症対策を講じることで、規模は縮小したが、各種講座を開催することができました。 ◇毎年元気な高齢者が積極的に講座に参加しています。 ◆新型コロナウイルス感染症対策として、リモート通信を活用する等施設の通信設備の充実に併せて、主に高齢者を対象とした、スマホやインターネットパソコンの使用方法等の講座開催。 ◆地域の資源(教育機関や自然、歴史的な遺構、建築物等)を活用した講座開催。
--------	--

令和3年度事業計画

【 北 】区

区 の 重 点	地域性を活かした生涯学習機会の提供 ○Wi-Fiルーターを活用し、デジタルスマートシティ推進に寄与する【大綱：1-（1）】 ○地域の特性を活かしたバラエティに富んだ学習講座を設定し、生涯学習の充実を図る。【大綱：1-（2）】 ○子供育成講座・事業への地域住民の参画を促して、地域教育力の向上を図る。【大綱：1-（3）】 ○世代間の交流を促進し、住民の連帯感・地域コミュニティ意識の向上を図る。【大綱：2-（1）】
------------------	--

浜松市生涯学習推進大綱		主な計画		区の重点
めざす都市像	基本方向	推進項目	○多くの施設で力を入れていく取り組み ○初の取り組みや今後他施設のモデルとしていきたい取り組み(施設名)	
「楽しみ」や「生きがい」が見つかるまち・浜松	基本方向 1	(1) 施設の整備	○Wi-Fiルーターの整備によりスマホ等IT関係の講座開設を可能にし、デジタル・スマートシティを推進します。(各協働センター) ○ユニバーサルデザイン化(エレベーター設置工事)を実施します。(引佐多目的研修センター)	○
	いつでも、どこでも、学べる学習環境づくり	(2) 学習情報と学習機会の充実	○浜松市ホームページを活用したり、「子ども講座」のチラシは小学校を通じて配布する等、積極的な広報活動を行います。(各協働センター) ○託児サービス付きの講座を取り入れる等、参加しやすい環境を整えます。(引佐協働センター) ○二次元コードやメールによる講座申込の受付を実施します。(各協働センター)	○
		(3) 学習環境の向上	○毎年人気の高い健康講座、スポーツ講座及び料理講座等に加え受講者アンケートや他の協働センターで好評だった講座情報をもとに、受講者の関心を意識した講座を提供します。(引佐協働センター) ○身近にある自然や歴史、史跡、博物館等を活用しながら地域理解を深め、体験型の講座を設ける等、地域の素材を使った講座を企画します。(細江協働センター) ○地域のニーズに合わせた講座開催を心掛け、身近な生涯学習施設として機能の充実を図ります。(三ヶ日協働センター)	○
	基本方向 2	(1) 学習成果を発揮する機会の充実	○地域ふれあいフェスタ事業(引佐・三ヶ日文化祭)では、生涯学習団体等の日頃の活動を発表する場として、作品展示・芸能発表等を行います。(引佐・三ヶ日協働センター) ○協働センターまつりの場で地域活動団体等が活躍する場を提供します。(都田協働センター) ○北区文化交流祭を開催し、区内の文化交流を推進します。(各協働センター)	○
	仕組みづくり	(2) 人材の育成	○学習成果活用事業を実施する市民や団体に積極的に協力、支援をすることで新たな人材の育成を進める。(引佐・三ヶ日協働センター) ○地域で特色ある文化活動を行っている講師に、「浜松市生涯学習講師」としての登録を勧めながら、地域住民に向けて講座を開催する等、地域の指導者としての育成を目指していく。(細江協働センター) ○協働センターまつり等の運営や企画に関わってもらうことで、地域のリーダーやボランティア候補を養成していく。(都田・三方原協働センター)	

令和2年度事業報告

【浜北】区

区 の 重 点	<p>夢をはぐくむまちにふさわしい学習機会の充実と地域づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の特徴とニーズに合わせ、講座内容の充実を図ります。 【大綱との関連】基本方向1-(2) ○ 地域との連携を図り、人材を活用した講座を開催し、地域づくりの意識高揚を図ります。 【大綱との関連】基本方向2-(1)
------------------	---

浜松市生涯学習推進大綱		主な取り組み		区の重点
めざす都市像	基本方向	推進項目	○多くの施設で力を入れていく取り組み ○初の取り組みや今後他施設のモデルとなる取り組み(施設名)	
「楽しみ」や「生きがい」が見つかるまち・浜松	基本方向1	(1) 施設の整備	○市民が安全・安心また快適に施設を利用できるように、施設職員による施設の点検を定期的に行い、支障のある箇所や不具合のある箇所の早期発見に努めました。	
	いつでも、どこでも、だれでも 学べる学習環境づくり	(2) 学習情報と学習機会の充実	○区内全協働センターより「 <u>協働センターだより合併号</u> 」を発行し、 <u>高齢者を対象とした生きがい教室(アクティブ・シニア講座)</u> 、 <u>多くの市民から需要のある市民スクール(初級講座)等の学習情報を区内全域に提供しました。</u> ○各地区の小学校の協力により対象全児童に募集チラシを配布し、より多くの子供が「子ども講座」に参加できる機会の提供を図りました。	○
		(3) 学習環境の向上	○地域の学習及びコミュニティの拠点として、ふれあい事業に取り組みました。 ○協働センターを利用する団体の活動を支援し、講座受講者が引き続き自主的に活動できるように、同好会等の結成を支援しました。	
	基本方向2	(1) 学習成果を發揮する機会の充実	○「 <u>浜松市と大学との連携事業</u> 」に参加し、 <u>大学の専門性を地域に還元するとともに、大学生が協働センター事業に参画する環境づくりを進めました。</u> ○学習成果活用事業を実施し、学習の成果を發揮する場の提供と併せて人材の発掘を図りました。	○
仕組みづくり	(2) 人材の育成	○青少年指導者養成講座の修了者を、協働センター事業におけるボランティアの核として、積極的な活用を図りました。(まちづくり推進課)		

◆成果・課題	<p>◇子供から高齢者まで様々な世代で参加できる各種講座を開催し、地域の教育力の向上や健康管理の充実を図ることができました。</p> <p>◇新型コロナウイルス感染防止のため、募集人員を減らし、開催時には、手指消毒や換気等の対応を徹底しました。</p> <p>◆講座開催時の換気の徹底。(他で活動している団体による騒音が、講座の妨げになったため、互いの入り口を閉める代わりに、換気を徹底していただく対応。)</p> <p>◆新たな利用者の掘り起こしをするための講座内容の充実。</p>
--------	--

区 の 重 点	<p>夢をはぐくむまちにふさわしい学習機会の充実と地域づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の特徴とニーズに合わせ、講座内容の充実を図ります。 【大綱との関連】基本方向1-(2) ○ 地域との連携を図り、人材を活用した講座を開催し、地域づくりの意識高揚を図ります。 【大綱との関連】基本方向2-(1)
------------------	--

浜松市生涯学習推進大綱		主な計画		区の重点
めざす都市像	基本方向	推進項目	○多くの施設で力を入れていく取り組み ○初の取り組みや今後他施設のモデルとしていきたい取り組み(施設名)	
「楽しみ」や「生きがい」が見つかるまち・浜松	基本方向 1	(1) 施設の整備	○市民が安全・安心また快適に施設を利用できるように、施設職員による施設の点検を定期的に行い、支障のある箇所や不具合のある箇所の早期発見に努めます。	○
	いつでも、どこでも、学べる学習環境づくり	(2) 学習情報と学習機会の充実	○区内全協働センターより「協働センターだより合併号」を発行し、高齢者を対象とした「生きがい教室(アクティブ・シニア講座)」、多くの市民から需要のある「市民スクール(初級講座)」等の学習情報を区内全域に提供します。 ○各地区の小学校の協力により、対象全児童に募集チラシを配布し、より多くの子供が「子ども講座」に参加できる機会の提供を図ります。	
		(3) 学習環境の向上	○地域の学習及びコミュニティの拠点として、協働センターまつりや地域ふれあい事業に取り組みます。 ○協働センターを利用する団体の活動を支援し、講座受講者が引き続き自主的に活動できるように、同好会等の結成を支援します。	
	基本方向 2	(1) 学習成果を発揮する機会の充実	○「浜松市と大学との連携事業」に参加し、大学の専門性を地域に還元するとともに、大学生が協働センター事業に参画する環境づくりを進めます。 ○学習成果活用事業を実施し、学習の成果を発揮する場の提供と併せて人材の発掘を図ります。 ○学習成果の発表や展示をする機会として、協働センターまつりを開催します。	○
	仕組みづくり	(2) 人材の育成	○青少年指導者養成講座の修了者を、協働センター事業におけるボランティアの核として積極的な活用を図ります。(まちづくり推進課) ○区内の中学校へ生徒の協働センターまつり運営への参加協力を求め、ボランティア精神の醸成を図ります。(全協働センター) ○協働センターまつり運営に生涯学習ボランティアを活用します。(全協働センター)	

令和2年度事業報告

【 天 竜 】 区

区 の 重 点	地域資源の活用と実情に即した学習機会を提供し学習意欲の高揚を図ります。 ○ 年代に応じた学習ニーズに対応するため、学習機会の充実を図ります。 【大綱との関連】 基本方向1-(2) ○ 学習成果を発揮する機会の充実を図ります。 【大綱との関連】 基本方向2-(1)			
浜松市生涯学習推進大綱		主な取り組み ○多くの施設で力を入れていく取り組み ○初の取り組みや今後他施設のモデルとなる取り組み(施設名)		区の重点
めざす 都市像	基本方向	推進項目		
「楽しみ」や「生きがい」が見つかるまち・浜松	基本方向 1	(1) 施設の整備	○施設を訪れた方が安全かつ快適に利用できるよう、職員による施設の点検を行うとともに、設備保守や清掃業務を定期的に行いました。 ○平成30年度に実施した外壁の劣化調査の結果をもとに、水窪文化会館の外壁の修繕及び屋根の改修工事を行いました。	
	いつでも、どこでも、だれでも 学べる学習環境づくり	(2) 学習情報と学習機会の充実	○地域への愛着を育むため、下阿多古ふれあいセンターの「阿多古川の水生物の調査」や二俣協働センターの「壬生の郷歴史講座」など、子どもたちが興味を持ちやすい地域の自然や歴史などを題材にした子ども講座を開催しました。 ○地域の特性を理解し、高齢者のニーズをとらえたアクティブ・シニア講座や幅広い世代が参加しやすい地域文化セミナー・地域づくり講座を開催しました。	○
		(3) 学習環境の向上	○上阿多古ふれあいセンターの「つるクラフト教室」など地域の素材を生かしたものづくり教室や、山香ふれあいセンターの「そば打ち体験」による小学生とシニアクラブの世代間交流事業など、地域の学習拠点として地域のニーズに適した学習機会を提供しました。 ○新型コロナウイルスによりセンターまつりは中止となりましたが、「くんま☆みんなの作品展示」や佐久間地域内で行われた「手作りマスクの作品展」など、工夫をこらして例年とは違ったふれあいフェスタ事業を実施し、地域住民の交流の輪を広げました。	
	基本方向 2	(1) 学習成果を発揮する機会の充実	○地域住民が講師を努める講座等を開催し、地域の人材の活用を図るとともに、学習成果を発揮する機会を提供しました。また、地域の人材が持つ知識の継承を図りました。 ○新型コロナウイルスによりセンターまつりは中止となりましたが、熊ふれあいセンターの「くんま☆みんなの作品展示」や竜川ふれあいセンターの「みんなの作品展示」など、例年とは違ったふれあいフェスタ事業を実施し、活動団体や住民の活動を発表する場を提供しました。	○
	学習成果を適切に生かすことのできる 仕組みづくり	(2) 人材の育成	○地域住民が講師を努める講座等を開催し、地域の人材の活用を図るとともに、地域の人材が持つ知識の継承を図りました。 ○未来の人材育成を図られるよう、子供を対象にした講座を開催しました。	
◆成果・課題	◇新型コロナウイルスの影響により、年度当初は講座が開催できませんでしたが、夏頃から三密回避・手指消毒の徹底など対策を図り、様子をみながら講座を開催することができました。その他、講座の定員等を考慮して開催しました。 ◇地域の高齢化が進む中、高齢者のニーズをとらえた講座を実施するとともに、地域の題材・素材を活用した講座・物づくり教室を企画し、地域の特色を活かした内容を提供することができました。 ◆参加者の高齢化は解消困難であることから、高齢者のニーズに即したテーマの選定、高齢者が参加しやすい環境づくりの継続。 ◆新たな受講者の獲得のために、幅広い世代が参加しやすい講座の企画。			

令和3年度事業計画

【 天 竜 】区

区 の 重 点	<p>地域資源の活用と実情に即した学習機会を提供し学習意欲の高揚を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の学習ニーズに対応するため、学習機会の充実を図ります。 【大綱との関連】 基本方向1-(2) ○ 学習成果を発揮する機会の充実を図ります。 【大綱との関連】 基本方向2-(1)
----------------------------	--

浜松市生涯学習推進大綱		主な計画		区の重点
めざす都市像	基本方向	推進項目	○多くの施設で力を入れていく取り組み ○初の取り組みや今後他施設のモデルとしていきたい取り組み(施設名)	
「楽しみ」や「生きがい」が見つかるまち・浜松	基本方向1 いつでも、どこでも、学べる学習環境づくり	(1) 施設の整備	○施設を訪れた方が安全かつ快適に利用できる施設となるよう、利用者の声を聞き取り、施設の維持管理と整備に努めます。 ○ユニバーサルデザイン化の観点から、トイレ洋式化改修を行います。(竜川ふれあいセンター)	○
		(2) 学習情報と学習機会の充実	○今後、コロナ禍の学習機会の確保方法としてSNSを活用したオンラインによる講座も考えられることから、その前段としてスマートフォンの使い方を学習する講座を開催します。(二俣協働センター、熊・上阿多古・光明・浦川・城西ふれあいセンター、水窪文化会館) ○地域の高齢化が進んでいることから、高齢者のニーズをとらえた「アクティブ・シニア講座」を実施するとともに、高齢者もそうでない世代も、幅広い世代が参加しやすい「ヒューマンセミナー」・「地域文化セミナー」等を開催します。	
		(3) 学習環境の向上	○ <u>コロナ禍の学習機会の確保方法として、SNSを活用したオンラインによる講座が開催できるよう、必要な機器を整備する。(光明ふれあいセンター)</u> ○地域の学習拠点として地域のニーズに適した学習機会を提供します。	
	基本方向2 学習成果を適切に生かすことのできる仕組みづくり	(1) 学習成果を発揮する機会の充実	○ <u>地域住民が講師を努める講座等を開催し、地域の人材の活用を図るとともに、地域の人材が持つ知識を地元継承していきます。</u> ○ <u>協働・ふれあいセンターまつり等の「地域ふれあいフェスタ」事業では、地域活動団体等の日ごろの活動を発表する場として、作品展示、芸能発表等を行います。また、地域住民の交流の輪を広げるよう、地域活動団体や市民と協働で開催します。</u>	○
		(2) 人材の育成	○将来の地域ボランティアの育成のため、協働・ふれあいセンターまつり等で中学生ボランティアを募り、事業を実施します。 ○子供を対象にした講座を開催し、未来の人材育成を図ります。	